

<p>Smart Data Platformサービス利用規約 別冊(クラウド/サーバー) 第1章～第4章 (略)</p> <p>別紙1～別紙4 (略) 別紙5ストレージ</p> <p>1 メニュー一覧</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">メニュー</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) (略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>(2) ファイルストレージ</td> <td>SDPFサービス(ネットワーク) クラウド/サーバー ローカルネットワークに係るロジカルネットワーク 経由でNFS(v3)プロトコルで接続可能なファイルス トレージを提供するもの</td> </tr> <tr> <td>(3) (略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 各メニュー等の提供条件等</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) ファイルストレージ</p> <p>A プレミアム (A) 提供条件等 a 当社は、プレミアムの提供にあたり、1のボリュームにつき上限スループットの400MB/sec、250MB/sec、100MB/sec、50MB/secのいずれかの容量メニューを提供します。 b 本メニューは、2021年11月14日までに利用を開始したユーザに対してのみ適用とし、2021年11月15日以降新規の利用申込はできません。 c 本メニューは、2023年9月30日をもって廃止します。</p> <p>B スタンダード</p> <p>別紙6 (略) 別紙7 ミドルウェア/ライセンス</p> <p>2 各メニュー等の提供条件等</p> <p>(1)～(5) (略)</p> <p>1 メニュー一覧</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">メニュー</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)～(5) (略)</td> <td>(略)</td> </tr> <tr> <td>(6) SAP HANA</td> <td>Red Hat社がSAP HANA向けに提供するOSに係るソフトウェア及びライセンスをSDPFサービスを通じてSDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー、ストレージ ファイルストレージ上に、SAP HANAのインストールを行い、TDI構成としてSAP HANA基盤を提供するもの</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) SAP HANA A 提供条件等 (A) SAP HANAに係るライセンスは契約者にて用意いただきます。 (B) SAP社規定に従ったTDI構成として提供しますが、特定の性能を保証するサービスではございません。 (C) SDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー、ストレージ ファイルストレージの400MB/s、250MB/s、100MB/sを各1つずつ利用頂くことにより、1の本メニューを提供するものとします。 (D) 契約者は本メニューの利用にあたり、事前に以下のメニュー申込みが必要となります。 a SDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー b ファイルストレージが接続されるSDPFサービス(ネットワーク) クラウド/サーバー ローカルネットワークに係るロジカルネットワーク (E) 利用開始後のOSならびにSAP HANA/パラメータの変更は、契約者にて実施いただきます。 (F) 当社はSDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバーで利用可能なRed Hat Enterprise Linux for SAP HANAに係るOSを提供します。 (G) 本メニューで構成されたSDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー、ストレージ ファイルストレージを契約者が削除することはできません。削除申込を頂き、当社にて削除致します。 (H) Red Hat Enterprise Linuxの利用については、本規約の定めに加え、Red Hatのエンドユーザライセンス契約及びレッドハットソフトウェアサブスクリプション契約が適用されます。これらの契約については、Red Hatの以下のWebサイトを確認ください。なお、以下のエンドユーザライセンス契約またはレッドハットソフトウェアサブスクリプション契約に変更があった場合は、その変更されたものが適用されるものとします。 http://jp.redhat.com/licenses/RHEL_EULA_JAPAN.pdf http://www.redhat.com/licenses/cloud_cssa/Cloud_Software_Subscription_Agreement_Japan.pdf (I) 契約者は、Red Hat Enterprise Linux の利用にあたり、次の行為を行わないものとします。 a Red Hat Enterprise LinuxをSDPFサービス(クラウド/サーバー) 以外のリソース上で利用すること。</p>	メニュー	内容	(1) (略)	(略)	(2) ファイルストレージ	SDPFサービス(ネットワーク) クラウド/サーバー ローカルネットワークに係るロジカルネットワーク 経由でNFS(v3)プロトコルで接続可能なファイルス トレージを提供するもの	(3) (略)	(略)	メニュー	内容	(1)～(5) (略)	(略)	(6) SAP HANA	Red Hat社がSAP HANA向けに提供するOSに係るソフトウェア及びライセンスをSDPFサービスを通じてSDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー、ストレージ ファイルストレージ上に、SAP HANAのインストールを行い、TDI構成としてSAP HANA基盤を提供するもの	<p>Smart Data Platformサービス利用規約 別冊(クラウド/サーバー) 第1章～第4章 (略)</p> <p>別紙1～別紙4 (略) 別紙5ストレージ</p> <p>2 各メニュー等の提供条件等</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) ファイルストレージ</p> <p>A スタンダード</p> <p>別紙6 (略) 別紙7 ミドルウェア/ライセンス</p> <p>2 各メニュー等の提供条件等</p> <p>(1)～(5) (略)</p> <p>1 メニュー一覧</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">メニュー</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)～(5) (略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table>	メニュー	内容	(1)～(5) (略)	(略)
メニュー	内容																		
(1) (略)	(略)																		
(2) ファイルストレージ	SDPFサービス(ネットワーク) クラウド/サーバー ローカルネットワークに係るロジカルネットワーク 経由でNFS(v3)プロトコルで接続可能なファイルス トレージを提供するもの																		
(3) (略)	(略)																		
メニュー	内容																		
(1)～(5) (略)	(略)																		
(6) SAP HANA	Red Hat社がSAP HANA向けに提供するOSに係るソフトウェア及びライセンスをSDPFサービスを通じてSDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー、ストレージ ファイルストレージ上に、SAP HANAのインストールを行い、TDI構成としてSAP HANA基盤を提供するもの																		
メニュー	内容																		
(1)～(5) (略)	(略)																		

b Red Hat Enterprise Linuxの不正なインストール、頒布、複製、利用または違法コピーを行うこと。

(J) Red HatがRed Hat Enterprise Linuxに係る料金(Red Hatが当社に対して請求するものをいいます)を値上げする場合、当社はその値上げに応じて、Web料金表に規定するRed Hat Enterprise Linuxに係る利用料金を値上げすることができるものとします。その利用料金の値上げにあたっては、当社はあらかじめ契約者に対して通知するものとします。

(K) 契約者は、Red Hat Enterprise Linuxの利用にあたり、契約者情報(契約者名、契約者の電子メールアドレス、ライセンス利用状況等)を当社からRed Hatに提供することに同意するものとします。

(L) 本メニューは、2021年11月14日までに利用を開始したユーザーに対してのみ適用とし、2021年11月15日以降新規の利用申込はできません。

(M) 本メニューは、2023年9月30日をもって廃止します。

B 料金算定方法

(A) 本メニューにて作成される以下のメニューについては、SAP HANA基盤を利用開始時から課金されます。

a SDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー ベアメタルサーバー

b SDPFサービス(クラウド/サーバー) ストレージ ファイルストレージ

c SDPFサービス(ネットワーク) 相互接続/関連サービス クラウド/サーバー インターネット接続ゲートウェイ グローバルIPアドレス

(B) 本メニューに係るSAP HANA利用割引プランは、以下の通り適用するものとします。ただし、対象とする月の最大割引金額はWeb料金表に記載の月額上限料金とします。

a 本メニュー(GP2プラン)は、SDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー ベアメタルサーバー(GP2プラン)ならびにSDPFサービス(クラウド/サーバー) ストレージ ファイルストレージの(上限400MBps、上限250MBps、上限100MBpsのプラン全てを利用)を各1つずつ利用頂くことで、Web料金表利用料金の額に定めたSAP HANA 利用割引 プランAを適用することとします。

b 本メニュー(GP3プラン)、SDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー ベアメタルサーバー(GP3プラン)ならびにSDPFサービス(クラウド/サーバー) ストレージ ファイルストレージの(上限400MBps(512GB)、上限250MBps、上限100MBps(512GB) のプラン全てを利用)を各1つずつ利用頂くことで、Web料金表利用料金の額に定めたSAP HANA 利用割引 プランBを適用することとします。

(C) 本メニューを利用して作成されたSDPFサービス(クラウド/サーバー) 物理サーバー ベアメタルサーバーに、契約者が他の新規OSをインストールした場合であっても、メニューに係る利用料金が継続して提供されるものとします。